

東北大学 金属材料研究所 講演会

事前申し込み不要
聴講無料

日時 2017年11月29日(水) 30日(木)

場所 金属材料研究所2号館講堂

実行委員 正橋直哉、木口賢紀

11月29日(水)

13:20~13:30 所長挨拶 所長 高梨弘毅

特別講演



13:30~14:30

Design-Led X 未来を開くプロトタイピング

東京大学大学院情報学環 東京大学生産技術研究所

教授 山中 俊治

今日、デザインは単なるスタイリングではなく、人と人工物とのあらゆる関わりを計画し、統合的に幸福な体験を実現するための技術になりました。研究の場においても、新しい技術がもたらす価値を共有し、様々な人材を巻き込み、社会に対して未来の姿を訴えてゆくために、デザインが大きな役割を果たすようになりつつあります。本講演では、東京大学山中俊治研究室がさまざまな研究者と共同で製作した、一連のプロトタイプとそのデザイン思想を紹介します。

プロフィール
1982年東京大学工学部卒業。1994年リーディング・エッジ・デザインを設立。2008~12年慶應義塾大学教授、2013年より東京大学教授。腕時計、カメラ、乗用車、家電、家具など携わった工業製品は多岐にわたり、毎日デザイン賞、グッドデザイン金賞、ニューヨーク近代美術館永久所蔵品選定など受賞多数。近年は「美しい義足」や「生き物っぽいロボット」など、人と人工物の新しい関係を研究している。



14:40~15:40

日本のものづくりを支える金研の不易流行 — 仮想とリアルの間での新産業興し —

技術ジャーナリスト 丸山 正明

現在進行中の第4次産業革命では、AIやIoTなどの予測が不確かな技術要素が加わり、従来のリアモデルではなかなか予測できない製品開発・新事業起こしに直面しています。その困難な局面を前にして、材料開発・材料の品質管理に優れている日本の大学・公的機関・企業が何を手がかりに局面を打開していくかを、編集記者という「門前の小僧」として「岡目八目」として過去の事例を基にお話しさせていただきます。

プロフィール
日経BP社が発行する技術系雑誌の「日経メカニカル」「日経マテリアル&テクノロジー」では材料分野などの記事執筆を担当。その後は、産学連携事務局で編集委員・プロデューサーとして産学官連携、技術移転などの情報発信を担当。単行本「産学官連携 大学がつくりだす近未来」などを執筆。経済産業省やNEDOの事業評価委員などを歴任。東京工業大学や横浜市立大学、大阪大学の各大学院の非常勤講師などを担当。

15:50~17:30 ポスターセッション [2号館ロビー]

18:00~19:30 ポスター賞表彰式 [2号館ラウンジ]

11月30日(木)

一般講演

午前の部

10:00~10:50

酸化物結晶成長において界面融液で起きていること — 界面融液構造の熱力学的解析 —

教授 宇田 聡

10:50~11:20

希土類-ホウ化物の次元性ネットワーク構造

准教授 湯蓋 邦夫

11:20~12:10

高密度水素化物の材料科学 — 最近の話題と今後の展望 —

教授 折茂 慎一

午後の部

13:30~14:00

鉄鋼材料の迅速分析法の確立

准教授 今宿 晋

14:00~14:50

金属ガラスの緩和挙動と構造不均一性

教授 市坪 哲

14:50~15:20

最近のマイクロ分析手法による原子力材料の解析 — 照射欠陥-溶質の相互作用 —

准教授 外山 健

15:20~15:30 閉会の挨拶

実行委員長 正橋 直哉



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班

TEL 022-215-2144 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>

E-MAIL k.kouen@imr.tohoku.ac.jp

134回 金研講演会

検索